



インドネシアにおけるアンモニア製造事業への参画について

 三菱ガス化学株式会社

2016年10月20日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井 敏磨、以下「当社」）は、インドネシアにて、三菱商事株式会社が投資目的会社を通じて出資する現地資本との合弁会社パンチャ・アマラ・ウタマ（PT Panca Amara Utama、以下「PAU」）のプロジェクトに、当社が参画することで合意いたしました。

アンモニアは主に天然ガスから生産され、肥料や化学品、火力発電での脱硝用途等、幅広く使用されています。アンモニアの世界需要は約 1.8 億 T/Y であり、今後も肥料用途を中心として世界的な需要が見込まれます。

当社は、昨年 7 月末にアンモニアの生産を停止しましたが、生産停止後は外部調達により、アンモニアの外販、および誘導品の製造を継続しています。当該事業への参画により、アンモニアの安定的な調達を図るとともに、インドネシアの天然ガスを主原料としてアンモニアを製造する PAU 社の安定経営に貢献してまいります。

<当該プロジェクトの概要>

会社名	:	PT Panca Amara Utama
工場所在地	:	インドネシア スラウェシ島バンガイ県
生産品目	:	アンモニア
生産量	:	約 70 万 T/Y
総事業費	:	8.3 億 US\$
運転開始予定	:	2017 年末

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

広報IR部 TEL：03-3283-5041